

定時制・通信制の現状と課題について

1 設置状況

学区	学校名		学 科	入学定員	在籍者数	備 考	
東	霞城学園	定	普通科	I 部（午前）	40	111	定通併置
				II 部（午後）	40	104	
				III 部（夜間）	40	26	
		通	普通科	120	647		
			服飾科	40	18		
北	新庄北	定	普通科（夜間）	40	27	全定併置	
南	米沢工業	定	総合学科（1,2年次） 工業科（3,4年次）	40	52	全定併置	
西	庄内総合	定	総合学科（1～3年次）	40	48	全定通併置	
		通	普通科	80	472		
	鶴岡工業	定	工業科（4年次）	-	2	全定併置	
	酒田西	定	普通	40	54	独立校舎	

2 県立高校の定時制・通信制で学ぶ生徒の現状

- 現在定時制に通う生徒で、働きながら学ぶ生徒の割合は少ない。（定時制：表 1 ①）
- 入学前または入学後に不登校を経験している生徒が多い。（定時制：表 1 ②）
- 中学校卒業後すぐに入学した生徒の割合は少ない。（通信制：表 2 ①）
- 中学校卒業後に他の高校への在籍経験などを経て入学する生徒が多い。（通信制：表 2 ②）

【表 1：定時制の現状（県全体）】

高校教育課調べ（R 6 年度入学生）

① 在籍者のうち就業している生徒の割合（アルバイトを含む）	13.4%
② 在籍者のうち中学校・高校で不登校経験がある生徒の割合	35.1%

【表 2：通信制の状況（県全体）】

① 新入学者のうち中学校新規卒業生の割合	15.7%
② 入学者のうち他の高校に在籍した経験のある生徒の割合（中退・編転入者）	39.0%

3 現在の定時制・通信制に望まれること

- 不登校、引きこもり等経験者の学びの場
- 全日制から転・編入する者の学びの場
- 心身上の問題等、複合的な問題を抱えた青少年の学びの場
- 過去に高等学校教育を受けられなかった者の学びの場
- 生涯学習の学びの場



これまでの定時制や通信制は、「勤労学生の学びの場」という側面があったが、現在は就業している生徒も少なく、不登校経験者など多様な学習歴を持つ生徒の学びの場としての期待が大きい。

今後は、特別な支援を要する生徒への丁寧な指導を行える体制の整備や、定通併修などの制度を生かした柔軟な教育課程による学び方が望まれる。

4 小中学校の不登校について

不登校児童生徒数の推移（国公立小中合計）

※R 5年度山形県いじめ問題審議会資料より抜粋

(単位：人)

年度		30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	増減
山形	不登校児童生徒数	1,110	1,153	1,226	1,554	2,073	519
	1,000人あたり	13.5	14.3	15.6	20.1	27.3	7.2
全国	不登校児童生徒数	164,528	181,272	196,127	244,940	299,048	54,108
	1,000人あたり	16.9	18.8	20.5	25.7	31.7	6.0



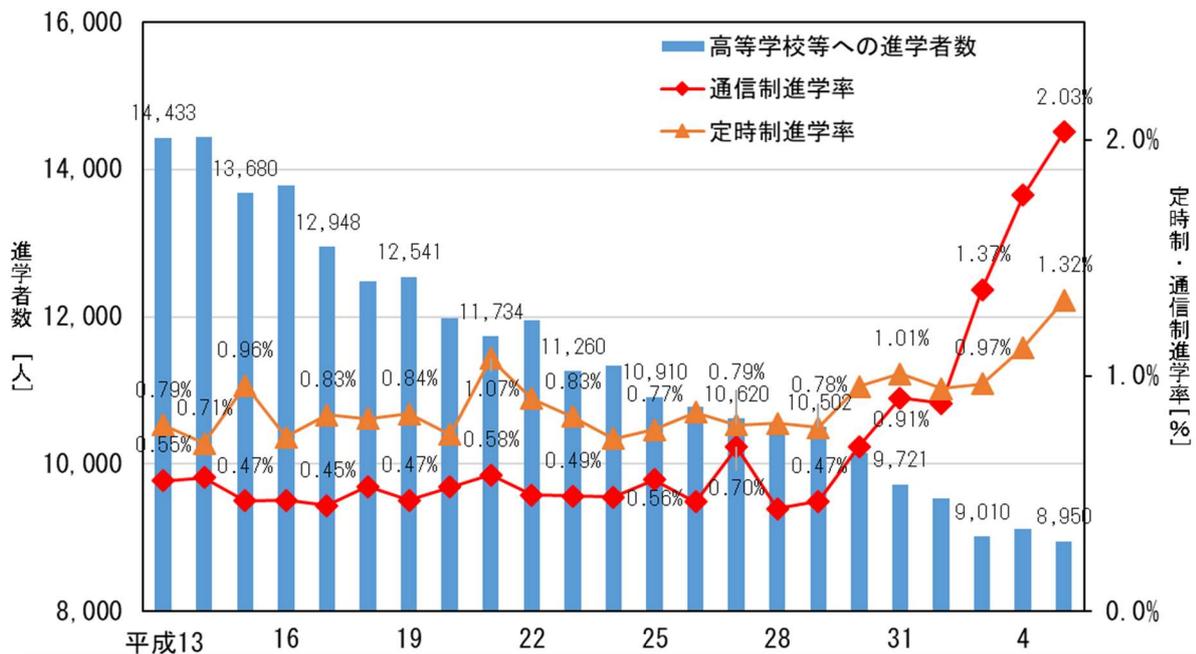
本県の小中学校不登校児童生徒数は、令和3年度より増加し、全国と同様の傾向となっており、不登校の要因としては「無気力、不安」が最も多くなっている。

居場所作りや絆づくりを進めるとともに、スクールカウンセラーの配置やスクールソーシャルワーカーの配置などによる、教育相談体制に係る支援が重要である。

5 山形県の中学校卒業生の高等学校への進学者数と高等学校定時制・通信制への進学率

(学校基本調査より)

※義務教育学校除く



県内でも、定時制や通信制への進学者が増加しており、不登校経験がある児童・生徒も増加していることから、今後もニーズが高まることが予想され、教育体制の充実が求められる。

5 課題

- 多様なニーズに対応する教育の場としての改善・充実
 - ・ 学力保障…学力差への対応、授業改善、評価の工夫、個別指導（学習指導）
 - ・ 社会的規範や学習意欲の希薄な生徒への対応（生徒指導）
 - ・ 居場所づくり、自立への支援、精神的問題を抱えた生徒への対応（保健衛生指導、担任複数制やアドバイザー制等の導入、カウンセリング、諸関係機関との連携）
 - ・ キャリア教育の充実と多様な進路への対応（進路指導）
 - ・ 生徒の学び方のニーズに沿った新しいタイプの高校の設置
 - ・ サテライト校など、生徒の通学状況に配慮した学校の配置

6 他県の事例

(1) 広島市立広島みらい創生高等学校

- 課程：フレキシブル課程 平日登校コース（定時制の課程）
フレキシブル課程 通信教育コース（通信制の課程）
- 設置学科：キャリアデザイン科（総合学科）

広島市立広島みらい創生高等学校は、定時制と通信制の課程が併設されており、キャリアデザイン科（総合学科）が設置されている。

従来の定時制・通信制の課程の枠組みに捉われない新たな学びとして、希望する学びのスタイルに応じて、平日登校コース（定時制の課程）、通信教育コース（通信制の課程）に分かれたり、午前、午後、夜間など学習時間帯を選んだりするが、他のコースや時間帯のカリキュラム受講も可能なフレキシブル課程が特徴である。

(2) 宮城県「アイデアルスクール」（2027年開校予定）

2027年開校予定のアイデアルスクールは、生徒の多様な興味・関心や進路希望の多様化、不登校や中退経験者等、集団生活に不安を感じる生徒などを受け入れることを目的とした、定時制と通信制の機能を併せ持つ全日制の単位制高校である。

学校の特色として、幅広い時間帯で開設される多様な教科・科目を選び、自身の生活スタイルや興味・関心に応じて授業選択が可能である。また、従来の学級は置かず、少人数のグループに対して一人の教員が付く「チューター制」を導入し、悩みの相談対応など、丁寧なサポートが特徴である。

(3) 長野県長野西高等学校 望月サテライト校（通信制のサテライト校）

2020年4月に長野県初の公立通信制サテライト校として設置。他の通信制と同様、きめ細やかな生徒支援をベースとしつつ、多様な生活・学習スタイルに合わせ、最大週5日間の登校が可能。ICT（情報通信技術）活用による個別最適化された学び、地域と協働した探究的な学びの推進をコンセプトとした通信制の新たな学びの場となっている。

特色1：自分の生活・学習スタイルに合わせ、週1日から週5日まで自分のペースで登校できること。（月・水曜日は必修科目中心の授業、火・木曜日はサテライト校オリジナル科目中心の授業、金曜日は特別活動（学校行事）を開設）

特色2：個別最適な学びの実践として、学習支援AI教材「すらら」を活用し、自分のペースで学ぶことができ、多様な科目から自分の興味・関心や進路に合った科目を選択し、学ぶことが可能。

また、きめ細やかな生徒支援として、個別ブース付きの学習室、緊張をほぐしリラックスできるオアシスルーム、悩み事をカウンセラーに相談できるサブルームを設置しており、安心・安全な学校生活を送ることができるように配慮されている。